

平成29年度 橋梁点検結果（北竜町）

No.	橋梁番号 (分割番号)	点検年	橋梁名	路線名	径間数	上部形式1	上部形式2	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設 年度	供用年	健全性判定区分	
													判定 区分	所見等
1	0005	2017	和橋	培本社和川端線	1	RC橋	RC溝橋（BOXカルバート）	4.00	10.60	4.00	1965	52	I	主構造である部材において、損傷が見られなかったため、道路橋全体としての健全度はIとした。
2	0006	2017	麓橋	北竜墓地線	1	RC橋	RC溝橋（BOXカルバート）	3.70	6.34	5.00	1967	50	II	主構造である主桁(頂版)において、鉄筋露出が発生し、c判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIとした。
3	0008	2017	近江橋	中の岱3線	1	RC橋	RC溝橋（BOXカルバート）	4.50	8.70	6.50	1994	23	I	主構造である部材において、損傷が見られなかったため、道路橋全体としての健全度はIとした。
4	0011	2017	村井橋	碧水中の岱線	1	RC橋	RC床版橋（その他）	4.45	6.30	5.80	1965	52	II	伸縮装置から漏水が確認されているが、路肩拡幅部であり、本線からは確認されていないことから、道路橋全体としての健全度はIIとした。
5	0012	2017	八戸橋	共栄2線	1	RC橋	RC溝橋（BOXカルバート）	2.50	8.50	5.50	1976	41	I	主構造である部材において、損傷が見られなかったため、道路橋全体としての健全度はIとした。
6	0013	2017	中村橋	共栄高台線	1	RC橋	RC溝橋（BOXカルバート）	2.50	6.50	5.00	1976	41	II	主構造である主桁(頂版)において、剥離・鉄筋露出が発生し、c判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIとした。
7	0014	2017	四戸橋	共栄岩村線	1	鋼溶接橋	I桁（非合成）	23.46	8.00	7.00	1980	37	II	主構造である床版にひびわれが発生しているが、損傷が0.1mmと軽微であり、橋面防水実施済みであるため、主桁のb判定を基準に、道路橋全体の健全度はIIとした。
8	0015	2017	富士橋	西川岩村線	1	PC橋	プレテン中空床版	15.54	8.70	7.50	1993	24	II	主構造である床版に遊離石灰が発生しているが、過年度に橋面防水施工のため、下部工のb判定を基準に道路橋全体の健全度はIIとした。
9	0016	2017	更新橋	西川岩村線	1	鋼溶接橋	I桁（不明）	11.86	9.70	8.50	1989	28	III	主構造である下部工において、ひびわれが発生し、d判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIIとした。
10	0018	2017	一の沢橋	西川岩村線	1	鋼溶接橋	I桁（非合成）	19.40	7.00	6.00	1974	43	II	主構造である下部工に遊離石灰が発生しているが、損傷範囲が局部的であるため、主桁のb判定を基準に、道路橋全体の健全度はIIとした。
11	0019	2017	竹内橋	西川岩村線	1	PC橋	プレテン中空床版	21.76	6.20	5.00	1988	29	II	主構造である床版において、遊離石灰が発生し、c判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIとした。
12	0023	2017	五の沢橋	美葉牛幹線	1	PC橋	プレテン中空床版	12.86	8.70	7.50	2004	13	II	主構造である床版において、遊離石灰が発生し、b判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIとした。
13	0028	2017	稔橋	三谷町有地線	1	RC橋	RC溝橋（BOXカルバート）	3.80	18.00	6.10	1979	38	III	主構造である主桁(頂版)において、遊離石灰が発生し、d判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIIとした。
14	0029	2017	柴崎橋	三谷町有地線	1	RC橋	RC溝橋（BOXカルバート）	2.76	9.90	5.10	2001	16	I	主構造である部材において、損傷が見られなかったため、道路橋全体としての健全度はIとした。
15	0030	2017	金比羅橋	金比羅公園線	1	PC橋	PC桁橋（その他）	6.54	8.03	7.53	1974	43	III	伸縮装置から漏水が確認され、d判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIIとした。
16	0037	2017	和スキー場橋	和スキー場線	1	PC橋	PC桁橋（その他）	7.00	6.00	5.50	1979	38	III	伸縮装置から漏水が確認され、d判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIIとした。
17	0040	2017	恵北橋	美葉牛四線	1	PC橋	プレテン中空床版	13.26	8.70	7.50	1990	27	II	主構造である下部工において、ひびわれが発生し、c判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIとした。
18	0043	2017	斉藤橋	石油沢2線	1	PC橋	プレテン中空床版	17.50	5.20	4.00	1989	28	II	主構造である下部工において、ひびわれが発生し、c判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIとした。
19	0045	2017	モリ川橋	美葉牛幹線	1	PC橋	プレテン床版	7.46	8.70	7.50	2001	16	III	主構造である下部工において、遊離石灰が発生し、d判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIIとした。
20	0046	2017	尻無橋	美葉牛西1線	1	PC橋	プレテン床版	7.56	8.70	7.50	2001	16	III	伸縮装置から漏水が確認され、d判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIIとした。
21	0047	2017	沼ノ沢川第二号橋	美葉牛四線	1	PC橋	プレテン床版	10.66	8.70	7.50	2000	17	III	伸縮装置から漏水が確認され、d判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIIとした。
22	0048	2017	沼ノ沢川第三号橋	美葉牛5線	1	PC橋	プレテン中空床版	14.56	7.70	6.50	2000	17	II	主構造である下部工において、遊離石灰が発生し、b判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIとした。
23	0049	2017	鶴飼耕作橋	美葉牛6線	1	PC橋	プレテン中空床版	10.34	5.60	5.00	2000	17	III	伸縮装置から漏水が確認され、d判定となったことから、道路橋全体としての健全度はIIIとした。

判定区分 I：健全（構造物の機能に支障が生じていない状態）

II：予防保全段階（構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）

III：早期措置段階（構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期の措置を講ずべき状態）

IV：緊急措置段階（構造物の機能に支障が生じている。又は支障が生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態）